発行：太子町観光・まちづくり協会
2021.1／掲載の情報は発行時のものです。

聖徳太子と日本遺産のまち

4 大阪府 太子町観光おすすめコース
叡福寺から歴史資料館コース

約 4 時間／約 4.6 km
※見学しながら歩く時間を想定しています。

コース概要

聖徳太子ゆかりの叡福寺・西方院、御陵をめぐり、竹内街道歴史資料館でゆったりと歴史を学べる、太子町散策のスタンダードなコースです。

太子町公式マスコットキャラクター
たいしくん

近鉄南大阪線「上ノ太子駅」もしくは、近鉄長野線「喜志駅」より金剛バスが運行しています。

聖徳太子御廟前バス停

スタート
叡福寺
1 0.1 km
西方院
0.8 km
用明天皇陵
2 1.1 km
推古天皇陵
3 0.3 km
二子塚古墳
1.0 km
孝徳天皇陵
0.2 km
竹内街道歴史資料館
4 ※入館料金が必要です 一般／個人 200 円
竹内街道
1.1 km
ゴール
太子町役場バス停

ゴールの後、金剛バスに乗り、近鉄南大阪線「上ノ太子駅」もしくは、近鉄長野線「喜志駅」へ…

1 叡福寺（えいふくじ）

聖徳太子御廟を守護するために、推古天皇によって建立され、奈良時代に聖武天皇が大伽藍を整備したと伝えられる叡福寺は、聖徳太子信仰の霊場として発展しました。織田信長の兵火によって、一時は全山が焼失しましたが、豊臣秀頼の聖霊殿再建に始まり、順次伽藍が再興されました。

2 用明（ようめい）天皇陵

聖徳太子の父親である第 31 代用明天皇は、「日本書紀」によれば、磐余の池上陵に葬られますが、推古元年（593）に「河内の磯長陵」に改めて葬ったと記録されています。用明天皇陵は東西 65m、南北 60m、高さ 10m の方墳で、幅 7m の空濠の外堤までを含めた規模は、一辺 100m に達します。墳丘規模や形は、蘇我馬子の墓と言われる石舞台古墳とよく似ています。

3 推古（すいこ）天皇陵

日本で初めての女帝である第 33 代推古天皇は聖徳太子を摂政にし、大陸の隋との交渉によって政治の改革や仏教文化を中心とした飛鳥文化を花咲かせました。推古天皇陵は、東西に長い三段築成の長方墳で、内部には 2 つの横穴式石室があると考えられています。推古天皇の子、竹田皇子も一緒に埋葬されていると言われています。

春

太子聖燈会（たいししょうとうえ）
4 月下旬開催

太子町を愛する地域の人々の思いで始まった太子聖燈会。叡福寺、西方院、太子・和みの広場を舞台に、約 1 万燈の灯火（ともしび）が春の夜を彩ります。

太子町立竹内街道歴史資料館
街道脇にたたずむ館内では、最古の国道（官道）とも呼ばれる竹内街道と太子町の関わりが一目でわかるように展示されています。
開館時間／午前 9 時 30 分～午後 5 時
入館料／一般 個人 200 円
休館日／月曜日（祝祭日の場合開館）
☎ 0721-98-3266

きっちん あかり
和食と洋食の両方楽しめる、赤い屋根が目印のかわいいお店です。
☎ 0721-21-1786
日曜定休

遺日産本

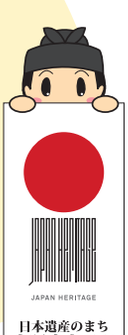
【1400 年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」～竹内街道・横大路（大道）～】
太子町を通る「竹内街道」が平成 29 年度日本遺産に認定されました！

竹内街道（たけのうちかいどう）
西暦 613 年、難波から飛鳥の都まで大きな道を作ったと日本書紀に記されています。この道が長い時代を経て「竹内街道」と呼ばれるようになりました。飛鳥時代、シルクロードの東端であるこの道を通じて、中国大陸や朝鮮半島の文化がもたらされました。

秋

竹内街道灯路祭り（とうろまつり）10 月中旬開催
街道を灯ろうで浮かび上がらせ、いつもとは少し違う幻想的な竹内街道をお楽しみいただけます。その他、古民家でのコンサート・軒下ギャラリーなど地域住民手づくりのイベントが盛りだくさん。毎年町内外からたくさんの来場者が訪れ楽しい時間をすごされます。

道の駅 近つ飛鳥の里・太子
新鮮な果物や野菜が安く買える朝市が毎週土・日曜日に開催されています。また、8 月には「ぶどう祭り」11 月には「道の駅感謝祭」が行われ、みかんや旬の野菜がずらりと並びます！
☎ 0721-98-2786



日本遺産のまち 大阪府太子町

166 国道 32 府道 古墳 陵墓 寺院 バス停 役場 交番 トイレ 駐車場 お店など コンビニ 資料館 道の駅 日本遺産構成文化財